



シニア職員研修

研修のねらい

シニア世代の職員がスキルや経験を前向きに振り返り、60歳以降も組織でいきいきと活躍し、モチベーションの維持向上を図るための心構えやコミュニケーション技法などを学びます。

受講対象者

県職員：250人

市町村職員：200人

- ・令和8年4月1日現在満59歳で、令和9年度に定年引上げにより引き続き勤務する予定の職員、及び令和9年度に定年前再任用短時間勤務を希望する職員
- ・令和8年4月1日現在満60～64歳で、研修の受講を希望する職員

配信時期：視聴時間

11月上旬～12月上旬（予定）

視聴時間：約2:00

備考

視聴時間はあくまで目安となります。カリキュラムの内容によっては個人ワークが含まれるため、受講者の取り組み状況により、実際の視聴時間は記載時間と異なる場合があります。



研修概要

（一社）日本経営協会

講師 手島 伸夫

【組織でいきいきと働くために】

- ・人生ゴムひも理論
- ・100年時代の問題
- ・シニア職員を悩ます3つの問題
- ・シニア職員に求められる役割とマネジメント理論
- ・コミュニケーション方法の変革
- ・知識継承と「暗黙知と形式知」の転換



こんな人におすすめ

- ・年上の上司や周囲の職員とうまくコミュニケーションを取りたい人
- ・定年引上げ後も働くモチベーションを維持したい人



得られるスキル

- ・指導力（シニア職員に求められる役割、マネジメント理論）
- ・コミュニケーション力（アサーティブコミュニケーション、傾聴力、質問力）



受講者の声

後輩職員とのフラットなコミュニケーションを大事にしつつ、これまでの経験を生かして組織に貢献できるよう改めて考えてみたいと思いました。